

Sustainable Report No.120

# SDGsリゾートで にぎわう街へ

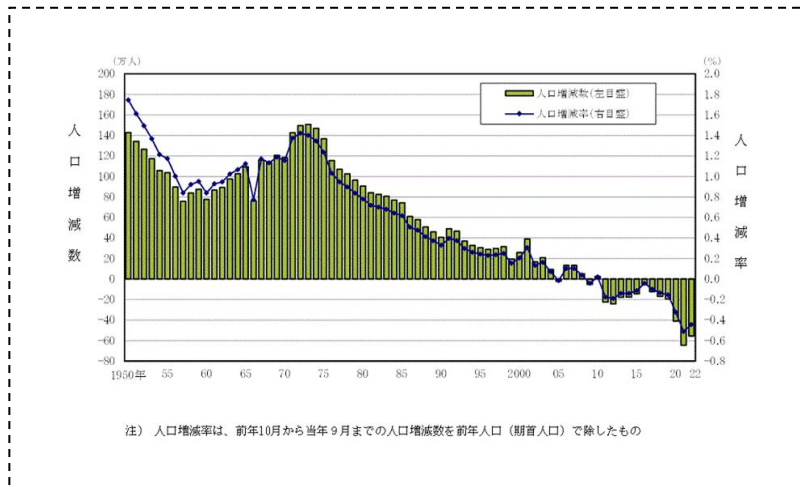


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。  
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

## ■ 課題の現状／経緯／影響

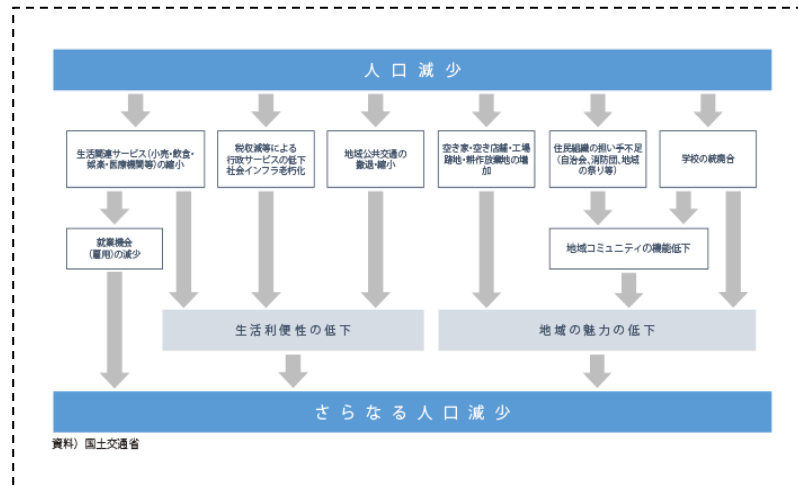
- 日本の人口は2024年6月時点で1億2,389万人で、近年減少局面を迎えており**2070年には総人口が9,000万人を割り込み**、高齢化率は39%の水準になると推計されている。
- 2023年の**出生数は72.7万人**で2024年には70万人割れが推測され、少子高齢化が年々進んでいる。
- 生活関連サービスの縮小や行政サービスの廃止、廃業増加、地場産業の衰退など**地域経済へ大きな影響**を与える。若い世代は産業や企業が集まる環境を求めて都会へ移住し、地域の過疎化が進む。

## ■ 総人口の人口増減及び人口増減率の推移



出典：総務省統計局

## ■ 人口減少が経済へあたる影響



出典：国土交通省

▶NEXT：貝塚市のSDGsリゾート開発

## ■ 実行者／解決方法／残る課題

- 森本尚孝氏が代表を務める三和建设株式会社と、黒岩功氏が代表を務める一般社団法人FUKUROは、2020年11月に共同で**一般社団法人SDGs LABO**を構成。多様性を価値に変える社会の現実を目指す。
- 大阪府貝塚市にSDGsリゾート「**かいづかいぶきヴィレッジ**」を2022年3月にオープン。宿泊施設が少ない地域で農園を生まれ変わらせ、広大な自然を生かして「農×福×食×宿」を掲げた施設を開発。
- 施設が所在する馬場は人口が少ないこともあり**周辺に企業や商業施設等が少なく**、居住者の増加など更なる地域活性化を目指す上でこれらの拡充は不可欠である。

## ■ かいづかいぶきヴィレッジ施設概要



## ■ 大自然の中のグランピングエリア



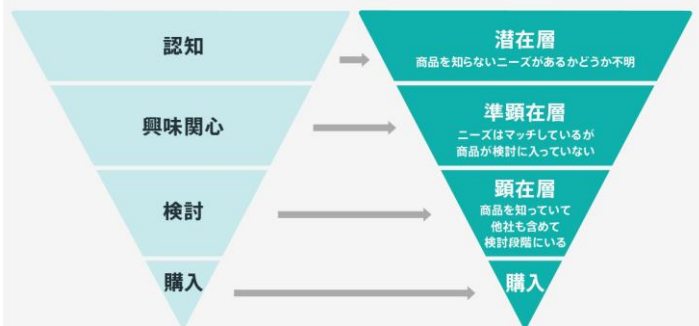
出典：左右共にかいづかいぶきヴィレッジ

▶ NEXT : にぎわう街づくりを目指して

## ■ 弊害の原因／理想／企業施策

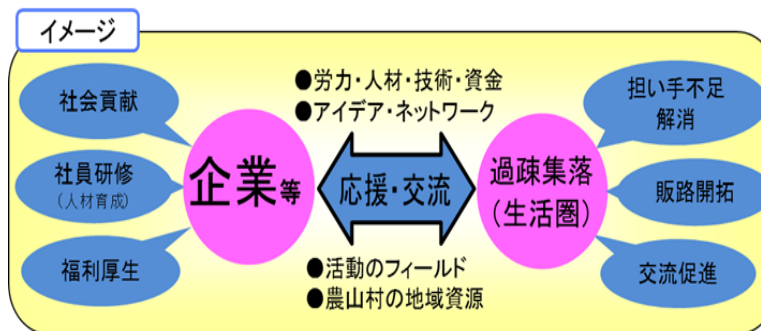
- 人口が少ない地域では、**市場規模や需要不足を懸念して**企業や商業施設を増やしにくいと考えられ、それに伴う労働力も不足していることがあげられる。また物流や交通網を整える必要性もある。
- 地域のニーズや嗜好に基づいて、商業施設のタイプやサービスを決定し、地域で不足している食料店やコミュニティセンター、レジャー施設のサービス提供などを行い**集客を見込める街**にする。
- 街を訪れた人に対して、アンケートやオンラインフォームを使用して、特定の施設に限らず滞在中の**街全体の様々な側面に関する評価や要望を収集**し、地域ぐるみでにぎわう街や施設づくりに繋げる。

## ■ 4つの顧客層



出典：BASE株式会社

## ■ 過疎地における企業の在り方



出典：和歌山県 地域振興部

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

## ■ 参照・引用資料

- 総務省統計局, 「人口推計 (2022年 (令和4年) 10月1日現在) 結果の要約」, 2023年4月12日  
(<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2022np/index.html>)
- 和歌山県, 「企業による過疎集落応援活動「企業のふるさと」」, 2024年6月26日参照, (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022200/kifuru.htm>)
- かいづか いぶきヴィレッジ, 「GLAMPING」, 2024年6月26日参照 (<https://ibuki-village.jp/glamping/>)
- かいづか いぶきヴィレッジ, 「GUIDE / MAP」, 2024年6月26日参照 (<https://ibuki-village.jp/guide/>)
- BASE株式会社, 「SNS、広告、SEO……どれがベスト? ネット集客の種類と基本知識」, 2021年11月12日 (<https://baseu.jp/23220>)

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



### 小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。